

会員数	38,350	(前月比) + 47
郵送	9,343	(前月比) - 23
手配り	26,882	(前月比) + 4
協同基金到達額	2,487,038,000円(8/31現在) [前月比 134,000減]	
協同基金出資者数	18,638名(8/31現在)	
いのちを守る助け合い募金額	35,375円(8/1~31)	



講師のリム・ボン先生

2019年度大阪民医連南ブロック 秋の強化月間スタートダッシュ集会

まちづくりで 私たちにできること



安心安全なサービス提供は？
経営状況は比較的安定している？
地域の文化や街並みに貢献できている？
街に活気はあるかな？
職員は活き活き働いている？

私たちの事業所を
この地域のまちづくりで
チェックしてみると...

社会医療法人同仁会理事でもある、立命館大学教授のリム・ボン先生を講師に「リム流まちづくりのすゝめ」をテーマに、同仁会と健康友の会みみはら、大阪みなみ医療福祉生協合同で秋の強化月間スタートダッシュ集会を開催しました。

150人を超える参加者

同仁会、健康友の会みみはら、大阪みなみ医療福祉生協合同学習会

リム・ボン先生が提案するまちづくりとは「エリア(空間)を限定した社会貢献活動」であり、その地域に存在する「人」は既にまちづくりに貢献している」と述べられました。

「まちづくり」に貢献している。そして「まちづくり」とは「特別な活動」ではなく、私たちの日常的な仕事(運動)の内容を確認するための「チェックリスト(活動指針)」である。

講演後、耳原総合病院、鳳クリニック、大阪みなみ医療福祉生協の北野田診療所、コープ診療所と4つの



各法人・事業所代表とリム・ボン先生とのシンポジウム

事業所から、事前に作成した「まちづくり検討シート(チェックリスト)」の発表がありました。

リム・ボン先生とのやり取りは会場から笑い起こるなど、楽しい指摘の中に、和やかな雰囲気にも包まれました。

最後は両法人の秋の強化月間に向けた共同アピールの提案を拍手で採択しました。(健康友の会事務局)

子ども達が小学生だった頃、長野のキャンプ場に通った時期があった。生活に必要な燃料や水はどの位いるのか、ゴミの細かい分別、川に優しい洗剤を選ぶ。日本中の自動販売機で使用する電力は原発1基分。だから自販機やめた。オーナーの話。数日のキャンプ生活では目からウロコの連続で、普段の暮らしは大量のプラスチック製品と電気、ガスに支えられCO2排出し水質汚染につながっていることに気付かされた。以来、レジ袋は断り自販機は使わない、ペットボトルは極力買わないよう努めている。▼産業革命以降、地球の平均気温は1度上昇したが人間活動による温室効果ガスの排出が元凶といふ。平均気温が1度上がると大気中の水蒸気は7%増し雨量が増え、雨が水蒸気を集めてさらに雨量を増やす可能性もある。近年の猛暑、集中豪雨、巨大台風を目の当たりにし気候変動の進行を痛感する人は少なくないはずだ▼日本は廃プラ輸出货量が世界第2位の消費大国である。地球上のあらゆる命にとって安定した気候は平和と共に必要不可欠だ。私たち一人ひとりが大量生産、大量消費型生活を見直す待った無し時に立たされている。(緒方浩美)

聴診器